

1. 事業の位置付け

事務事業名	資源・環境に配慮した道路づくり（廃棄タイヤの活用）事業		
事業担当	土木部 土木補修課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	03	③〈循環型社会〉 循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
廃棄タイヤを有効活用した路面舗装により、騒音振動の低減などの調査結果が得られた場合には採用し、資源の循環利用の確立と道路環境の向上が図られています。		資源・環境に配慮した道路づくりを研究するため、アスファルトの材料に廃棄タイヤを混ぜた舗装を行い、施工者から追跡調査報告を受け結果を公表します。平成21年度に採用可否の判断をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	振動・騒音調査回数						単位	回
	説明・算定式	既設舗装との振動・騒音比較調査（3箇所程度）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	1			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	調査結果の検証・公表回数						単位	回
	説明・算定式	提出された調査報告書の内容確認・公表回数（平成21年は、採用・不採用の判断含）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	1			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
既設舗装と廃棄タイヤを活用した路面舗装の振動・騒音に対する比較調査を実施し、研究成果を報告書にまとめた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	資源・環境に配慮した道路づくりの研究のため必要性がある。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	資源・環境に配慮した道路づくりの研究のため有効性がある。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	資源・環境に配慮した道路づくりの研究目的のため、比較調査を行う妥当性がある。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	資源・環境に配慮した道路づくりのため、比較調査を行うことでコスト削減の可能性など、効率性を検討できる。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 廃棄タイヤを活用した路面舗装に、期待通りの結果が得られるかどうか、耐久性の面から問題がないかなどの評価判断の難しさが課題です。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				検査結果の検証、 振動騒音検査の立 会い	検査結果の検証、 振動騒音検査の立 会い	結果の検証、立会 い、採用可否の判 断・公表		
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,259	1,259	1,259	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,259	1,259	1,259	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 追跡調査により、採用可否の判断を行う。	
平成21年度取組方針	
経年の追跡調査結果による廃棄タイヤを有効活用した路面舗装の採用可否の判断。	
課長コメント	廃棄タイヤの有効活用による路面舗装が、追跡調査に基づき、有効な舗装材料として採用できるかどうか可否の判断をしていきたい。